

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ぶなの嶺牧場活性化事業
事業主体 (連絡先)	売木村
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	6,388,200 円

事業内容

○山羊乳は生乳で販売するほか、ソフトクリームやチーズなど、加工品の原料としても使用されており、100%牧草で飼育されたものは購入飼料のものとは差別化を図ることができ、売木村の特産品として期待される。

山羊用搾乳小屋設置	1棟	59.62㎡
間仕切り用資材等	一式	
資材等倉庫 木造平屋建	1棟	39.75㎡



【ヤギ搾乳小屋】

【目標・ねらい】

事業効果

①山羊飼育農家は現状維持の2戸にとどまっているが、ミルクの特産化、商品開発を進めるため、「うるぎヤギの会」が発足。

ミルク以外の製品化と活性化に向けて事業を推進することになった。

②ミルクの生産量は目標2,000ℓに対し、生乳で3,518ℓ、ミルクとして2,113ℓを生産できた。

③繁殖和牛飼育農家は村内3戸と横ばいだが、隣接する地域の飼育農家も畜産組合に加入し、6戸で牧場の管理、放牧事業を行っている。

①山羊飼育農家 2→5

②ミルク生産量 1,471ℓ→2,000ℓ

③繁殖和牛飼育農家数 3→5

④和牛放牧頭数 1,700頭→2,000

※自己評価【B】

【理由】

ヤギの飼育、ミルクの生産に関してはミルク以外の商品開発と地域活性化のための新しい活動がはじめられた。

和牛については現状を維持し、

今後の取り組み

新たな商品開発とカフェの運営を目標として「うるぎヤギの会」が地域住民有志により発足し、ミルクだけだった乳製品のさらなる活用と、地域の活性化につながるものと期待される。この取り組みによりヤギの飼育農家の増加も期待される。

放牧場の管理は売木村畜産組合が継続して実施するが、和牛のほかヤギの放牧も受け入れ、牧場の有効利用が図られる。繁殖和牛の飼育については新規参入農家の希望、問い合わせもあり、導入のための支援を検討する。また、地域おこし協力隊制度の活用による新規就農、定住に向けた取り組みも検討する。